

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営ビジョン

セブン・イレブン事業を核としたグローバル成長戦略と、テクノロジーの積極活用を通じて流通革新を主導する、「食」を中心とした世界トップクラスのリテールグループ

② 中長期の経営戦略

1. 変革プランの推進

2025年8月に発表した「7-Elevenの変革」計画。グローバル企業として成長するための優先事項を明確に定義し、コミュニケーション、スピード…

2. 規律あるキャピタル・アロケーション

変革プランを実行し、長期的な株主価値の最大化に全力で取り組み、企業価値及び株主価値向上を実現

3. グループ企業文化の再構築

創業者の精神「信頼と誠実」「変化への対応」を経営理念とし、すべての従業員が創業者のように考え行動することでイノベーションを起こし成長を加速

4. サステナビリティ戦略の推進

「7つの重点課題」に基づき、CO₂排出量削減、プラスチック対策、食品ロス・食品リサイクル対策、持続可能な調達、人権デュー・ディリジェンス等を強化

③ 対処すべき課題

① イノベーション鈍化への対処

- ・近年のイノベーション鈍化と事業推進力低下というリスクに深い危機感を持ち事業運営を変革
- ・事業の再定義と自ら挑戦する姿勢の醸成でイノベーション起点での成長加速を実現

② 組織体制の最適化

- ・2025年9月からコンビニエンスストア事業に特化した新体制に移行
- ・マネジメントプロセスを抜本改革し迅速な意思決定体制を構築

③ ガバナンス強化

- ・独立社外取締役が過半を占める取締役会で経営監督機能を強化し透明性向上
- ・指名・報酬委員会の独立性確保と業績連動型報酬導入で経営規律を徹底

面接で使えるポイント

- ・2025年9月のコンビニエンスストア事業特化への体制転換を通じた事業集中戦略
- ・創業者精神の「信頼と誠実」「変化への対応」を現代に継承しイノベーションを主導
- ・CO₂排出削減やプラスチック対策など7つの重点課題を軸としたサステナビリティ経営の実践

証券コード 3382

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）

－（推移を描ける期数の開示がありません）

暗記する数字3つ

連結売上高
8.89兆円

営業利益率
4.8%

財務健康度
31点 /100点

将来性 晴れ / 就活偏差値 63.7（当サイト算出の参考指標）

平均年収
855万円

小売業内 14位/318社

平均年齢
45.1歳

小売業内 89位/318社

平均勤続
17.5年

小売業内 51位/318社

女性管理職
19.7%

小売業内 81位/250社

男性育休
100.0%

小売業内 25位/193社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

要するに
東京都千代田区に本社を置く純粋持株会社であり

主力事業・セグメント

- ・海外CVSOperations 82.0%
- ・国内CVSOperations 8.7%
- ・SuperstoreOperat 6.6%

強み・特徴（公開データから）

- ・連結売上高8.89兆円の大企業
- ・将来性評価は晴れ
- ・平均勤続17.5年と定着率が高い

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

参考: セブン&アイ・ホールディングス[3382]：欧州コンビニエン

